

普通科 情報科 学習指導計画

実施校： 
 指導教諭： 
 実習生： 

1. 日時 : 平成 29 年 6 月 21 日 (水) 第 3 校時 (11:00~11:50)
2. 学年 : 第 2 学年
3. 実施場所 : PC 教室
4. 科目名 : 人文選択 B「社会と情報演習」
5. 単元名 : 情報と問題解決

教科書：「見てわかる社会と情報」 2 章 情報を整理して伝えよう

第 1 節 問題解決の手順と方法 第 2 節 情報をわかりやすく伝える

6. 単元の目標

関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・グループで積極的に話し合い、問題解決に取り組むことができる。 ・身近なことに対して疑問を持って取り組むことができる。
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決に必要な論理的な思考を身につけることができる。 ・アイデアをたくさん出すことができる。
技能	<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決のプロセスで使うツールを活用できる。 ・情報を収集することができる。 ・集めた情報を取捨選択し、まとめることができる。
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決の手順と方法を理解する。 ・発表ツールの使い方を理解する。

7. 単元について

(ア) 教材観

生徒が普段の生活の中から問題を発見し、解決に向かうプロセスを踏めるような教材を作成した。教科情報では、社会で起こる問題を発見し、解決していく力を育成することが求められている。しかし、社会で起こる問題解決というテーマは大きすぎて生徒は身近に感じることができないと考える。さらに、今回取り扱う問題解決の問題というのは人々が生活する中で直面するものであり、問題解決の方法と手順だけを取り出して、知識として教授するだけでは、目標を達成するには不十分であると考える。したがって、生徒の身近な生活から問題を発見し解決のプロセスを体験できるような状況を考えて教材を作った。生徒の身近な社会から問題を発見し解決策を提案するまでのプロセスを体験することで、実際の生活でも活用可能な問題解決のスキルを身につけることができると考える。

また、問題解決をする過程では発散的な思考や収束させていく思考など、様々な思考の仕

方が必要である。そのため、アイデアを出すための方法や問題を分析するための思考ツールなどを活用して、思考の可視化をできるように意識して教材を作成した。

さらに、すべての授業を 4 人 1 組 (1 グループだけ 5 人) のグループワークで行うことにした。問題解決をするためには多くのアイデアが必要である。グループで課題に取り組むことで多くのアイデアを出すことができると考えたためグループワークを取り入れた。

また、この授業はすべて実習になるため、その時間の記録が残しにくく、次の授業のときに振り返る資料が少なくなる。そのため、振り返りとしてリフレクションシートを取り入れた。また、そのリフレクションシートを教員が見ることで生徒たちが実習中に何を考え、何を学び、何に困っているかを把握することもできると考えて取り入れた。

(イ) 生徒観

クラスの中には積極的に意見を出せる生徒と意見を出すのが苦手な生徒がいる。積極的に意見を出しリーダーシップをとれるような生徒が多い班はグループワークを順調に進めることができるが、意見を出すのが苦手な生徒が多い班は話し合いや意見をまとめる活動が進みにくい。

グループワークで意見を出すのが苦手な生徒も与えられた作業に関しては、一生懸命に活動する生徒がほとんどである。与えられた作業は一生懸命に取り組むことができるのだが、先生の問いかけや答えのない課題に対しては考えることが難しい生徒が多いように感じる。

(ウ) 指導観

この単元の目標は「問題を発見し解決する力をつけること」である。そのため必要な問題解決の手順や問題解決のプロセスで使う方法やツールの使い方の説明を生徒に理解できるように指導する。そして、その問題解決に必要な方法やツールを活用しながら、実際に活動できるような指導を行う。

さらに、クラスの中で積極的に意見を出す生徒と意見を出すのが苦手な生徒が混在しているため、活動が進みにくいグループには教師が介入し、話し合いを活性化させるような指導をする。さらに、グループワークを行う時間は机間巡視をする中で、生徒が思考を止めないように疑問を投げかけることや、アイデアを出すことなど積極的に介入しながら指導を行う。

(エ) 概要

「エンジョイ・スタディー プロジェクト」

高校生が普段の学校生活をより良いもの、より楽しいものにするために、普段の生活から問題を発見し、授業の最終回では、解決策の提案を相手にわかりやすくプレゼンテーションすることを目標としている。1 回目の授業では、問題を発見するという活動を行う。普段の生活からどのような問題があるのかをブレインストーミングで問題点を出し、その後、問題点を分類する。そこから問題を焦点化し思考ツールを使って問題を分析するというところを行う。2 回目の授業では、焦点化した問題から解決策を出すためのグループディスカッションを

行い、問題の解決策を出すところまでを行う。3回目の授業では、発表の準備をする。主に企画書の作成と発表練習の時間にする。そして、最後の4回目の授業では作成した企画書を提示しながら、グループごとに焦点化した問題点とその解決策をプレゼンテーションする。

(オ) 単元のスケジュール

授業日	授業	内容
6/12(月)	導入 問題の焦点化	・ブレインストーミングで日常生活の問題を出す。 ・思考ツール（フィッシュボーン）を用いて、問題を分析する。
6/14(水)	解決策の提案 成果物作成	・問題の解決策の方法を調べる。 ・解決策のアイデアを出す。 ・成果物（企画書）の作成をする。
6/19(月)	企画書完成 発表練習	・成果物（企画書）の作成をする。 ・発表方法を考える。
6/21(水)	発表練習 発表	・発表 企画書と具体的な解決策のプレゼンテーションをする ・まとめ

8. 本時について

➤ 目的

- ・ 他者と協働しながら問題を発見し解決をする力をつける
- ・ 情報をわかりやすく相手に伝える力をつける

➤ 目標

- ・ 情報をわかりやすく相手に伝えることができる。
- ・ 聞き手を意識した発表ができる。
- ・ 聞き手を納得させる発表ができる。

➤ 準備物

- ・ 返却物
生徒が作成した企画書、分析シート、リフレクションシート
- ・ 進行用の PowerPoint ファイル
- ・ 評価シート
- ・ iPad（時間計測）
- ・ Lightning 変換器
- ・ オーバー・ヘッド・プロジェクター（OHP）
- ・ マイク

➤ 本時の流れ

時間	内容	生徒の動き	準備物・留意点・T1の動き	T2の動き
	(0)事前準備		準備物は2ページの下参照	配布物の確認
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 進行の PowerPoint の動作確認 ・ 配布資料の準備 ・ OHP の準備 			
	号令、挨拶	号令、挨拶をする	号令をかけさせ、挨拶をする	・ 挨拶をする
2分 (2)	(1) 前時の振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ・ 話を聞く 	Power Point	<ul style="list-style-type: none"> ・ 話を聞く ・ 机間巡視
	生徒が前回記述したリフレクションシートの紹介			
5分 (7)	(2) 導入	話を聞く	Power Point	<ul style="list-style-type: none"> ・ 話を聞く ・ 机間巡視
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発表の説明 <ul style="list-style-type: none"> ・ 発表のルールのおさらい ①発表時間4分の内訳 →発表3分 質疑応答1分 ②発表と質疑応答の順番の確認 ③相互評価の観点と説明 →ループリックと評価シートを用いて評価することの説明 ・ グループの席に移動する。 			
		グループの席に移動する。 代表者1名 企画書等の返却物を取りに来る。	あとで、聞き直す時間がな いので、生徒が聞き直しな いようにできるだけ丁寧に 説明する。 最後に質問はないかを確認 する。 素早く移動するように声 かけをする。 グループの代表者1名を 前に来させる。	

6分 (13)	(3) 展開 1		企画書、webタイマー	
	<ul style="list-style-type: none"> 発表練習 (3分) 発表の修正と確認 (3分) 	<ul style="list-style-type: none"> 発表練習をする。 グループで話しあう。 発表の確認をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 3分間の時間を測って全員で一斉に発表練習をする。 webタイマーをスクリーンに映し出して時間を計測する。 	机間巡視
25分 (38)	(4) 展開 2		企画書、OHP、iPad	
	<ul style="list-style-type: none"> 発表時間：1グループ4分間 <発表会の時間の内訳> 4分×5グループ (合計20分) 交代1分×5グループ (合計5分) 順次発表していく 	<ul style="list-style-type: none"> 各グループ順次発表を行う。 評価シートを記入する 	<ul style="list-style-type: none"> iPadのタイマーで時間を表示 (発表者にも見せる) 時間管理をする 3分の発表時間をどれだけ守っているか記録する。 残りの時間で4分になるまでは質疑応答の時間にする。 	<ul style="list-style-type: none"> 発表を聞く 質疑応答をする班にマイクをランダムに回す。
7分 (50)	(5) まとめ		PowerPoint、リフレクションシート	
	<ul style="list-style-type: none"> まとめの話 (3分) リフレクションシートの記入 (4分) 	<ul style="list-style-type: none"> 話を聞く リフレクションシートを記入 	<ul style="list-style-type: none"> 机間巡視 振り返りを書いているか見回る。 リフレクションの評価ルーブリックのスライドをスクリーンに提示する。 	<ul style="list-style-type: none"> 話を聞く 机間巡視
号令、挨拶		号令、挨拶をする	号令をかけさせる、挨拶をする	挨拶をする